

東京農工大学 大学院農学研究院 物質循環環境科学部門

准教授 公募要領

- 募集職種** 准教授（任期あり）1名
- 着任時期** 令和7年7月1日（火）以降のできるだけ早い時期
- 雇用形態** 常勤教員 任期5年（ただし労働契約の期間が満了する日の翌日から任期の定めのない教育職員となることを希望する場合、任期の定めのない教育職員とするための審査を行います。）
- 配属** 東京農工大学 大学院農学研究院 物質循環環境科学部門
（兼務）東京農工大学 大学院先進学際科学府 先進学際科学専攻
予測情報学コース（令和7年4月設置）*
- * 農学・工学を基礎とした学際的な研究において、計測科学・計算科学・データ科学を連携・融合することで社会課題の解決やイノベーション創出に取り組み、数理・データサイエンス・AI教育を通じた高度職業人材育成を強化するため、令和7年4月に設置予定の大学院です。
(<https://www.tuat.ac.jp/department/kaiso/ais/>)
- （兼務）東京農工大学 農学部 環境資源科学科
（兼務）東京農工大学 大学院 連合農学研究科
- 勤務地** 東京農工大学 府中キャンパス（〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8）
- 教育研究分野** 環境科学，環境化学，環境生物学

本学大学院農学府物質循環環境科学部門では、物質循環の諸要因と環境汚染の現状、生態系への影響を環境モニタリングや実験などにより解明し、自然環境の将来予測とその適切な修復方法を提案・実行するための専門性を養成するための教育・研究を行っています。兼務となる本学大学院先進学際科学府先進学際科学専攻予測情報学コースでは、革新的な計測・デジタル技術を用いた情報収集、最新の数理・データサイエンス・人工知能（AI）技術に基づいた高度な情報処理・解析・管理、および多様な情報に基づく予測技術の開発に取り組むことを目的とし、実践的な教育・研究を実施することにより、農学における社会的課題の解決や新しい知の創出を目指します。

本公募では物質循環環境科学部門と予測情報学コースの教育・研究を融合し、環境汚染解析および物質循環の分野において、特に微生物を対象としたバイオマニュファクチャリングに関わるウェットとドライの両方の技術に精通し、バイオインフォマティクスやビッグデータの処理・解析技術を駆使して得られた結果を応用して、微生物を用いた温室効果ガス削減や有用物質の生産に関する諸技術を開発し、イノベーション創出、バイオエコノミー戦略への貢献を意欲的に推進する研究者を公募いたします。また大学院生への指導を通して将来の環境科学の分野における優秀な若手研究者の育成に取り組む研究者を公募いたします。

担当予定科目

(学部)「環境分子生物学」「微生物生理生態学」「環境情報解析学」「情報処理学」「科学英語論文講読」「卒業論文」など

(大学院)「応用環境計測予測学特論 I」「応用環境計測予測学特論 II」

「先進学際カンファレンス」「先進学際農学特別研究」など

応募資格

1. 博士の学位を有すること。
2. 日本語および英語での講義が可能であること。ただし国籍は問いません。
3. 大学や研究機関等で教育および研究に従事した経験を有し、熱意をもって大学院生・学部生に対する教育・研究指導を遂行できること。
4. 所属分野の一員としてほかの教員と協力して教育・研究を担えること。
5. 本学の運営と今後の発展に尽力できること。

提出書類

(1) 履歴書（下記 HP より本学様式をダウンロードして提出すること）

<https://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/kyouin/rirekisho.html>

(2) 研究目録：以下の項目に分類して年代順に最近のものから並べること。著者名リストにある応募者名にアンダーラインを付し、責任著者に*を付すこと。

(a) 原著論文

原著論文については、各業績の末尾に査読の有無を『(査読あり)』または『(査読なし)』と記載すること。なお日本語の論文において、日本学術会議協力学術研究団体の発刊する学術雑誌ではない場合、査読の有無にかかわらず業績の

末尾に『(日本学術会議協力学術研究団体ではない)』と記載すること。なお『(日本学術会議協力学術研究団体ではない)』業績については後日、掲載媒体の査読体制を示した資料の提出をお願いすることもあります。

(b) 総説・著書・プロシーディング

(c) その他特筆すべきこと（必要があれば記載）

- (3) 研究目録に示した論文のうち代表的な業績 5 点の別刷り，コピー
- (4) これまでの研究成果の概要（図表を含め A4，2 枚程度）
- (5) 教育実績について，担当科目名と時間数，担当した時期を学部と大学院に分けて書き，また，学生指導実績（卒業論文〇名，修士論文〇名，博士論文〇名，など）を書いて下さい。
- (6) 着任後の研究・教育に対する抱負（図表を含め A4，2 枚程度）
- (7) 所属学会・役員，基調・招待・依頼講演，特許，受賞，研究費取得状況（代表者と分担者の区別を明記），社会貢献活動，その他の特記事項
- (8) 応募者について所見を求め得る 2 名についての情報（氏名，所属，連絡先電話番号，電子メールアドレスなど）

応募締め切り 令和 7 年 4 月 4 日（金） 必着

応募書類の提出方法

上記提出書類のうち(3)以外を一つの PDF ファイルにまとめ，項目(3)はすべてのファイルを zip 形式として一つのフォルダにまとめて，メールに添付してください。最大ファイル容量 20 MB です（ファイル容量が大きい場合は，メールを複数回に分けて送付してください）。メール送信時は，件名に「物質循環環境科学部門教員応募」と記載して下さい。

なお，著書については郵送でも可能です。ただし，著書の返却を希望する方は，返信用封筒に切手または着払い伝票を貼り付け，宛先住所・氏名を記したものを同封して下さい。その場合の住所は下記の通りです。

〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8

東京農工大学 大学院 農学研究院 物質循環環境科学部門 渡邊 泉

[封筒の表に「物質循環環境科学部門 教員応募書類在中」と朱書し，簡易書留で郵送して下さい。]

選考方法

書類選考のうえ、面接を実施します。面接（交通費・滞在費は応募者の自己負担となります）の日時等は、応募者に電子メールで連絡します。遠方の場合は Zoom 等オンラインで行うことも検討します。

選考結果通知方法

書類審査および面接選考結果の通知を含め、選考に関する連絡は原則、電子メールで行います。

応募書類提出先・問い合わせ先

東京農工大学大学院 農学研究院 物質循環環境科学部門 渡邊 泉

wataizumi@cc.tuat.ac.jp

メール送信時は件名に「物質循環環境科学部門教員応募について」と記載して下さい。

その他

- ・本公募の詳細については、本学 HP を参照してください。

<https://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/kyouin/>

- ・応募に係る個人情報、個人情報保護法及び本学規程に基づいて適切な取扱いをいたします。応募の事実は非公開としますが、選考上必要な範囲において照会等を行うことがあります。

- ・東京農工大学は、男女共同参画を積極的に推進しています。

(詳細は東京農工大学男女共同参画推進室 HP を参照してください)

http://web.tuat.ac.jp/~dan-jo/danjo_new/index.html

- ・東京農工大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、職員の採用に際し安全保障上の確認を行っており、確認に必要な情報の提供をお願いしています。審査の結果、規制事項に該当する場合は、希望する教育研究の変更を求める場合があります。また、経済産業省へ許可申請をした結果、不許可の通知があった場合は内定を取り消すことがあります。

以上